

い。2のケースの場合には同じ様な造成を行なった所で、しかも同じ所から土や砂を持ってきた所が有ればこの可能性がより強く支持される。菟谷公園の造成に用いた土は三木市口吉川から運ばれたという事は分かっている(神戸市土木局北神戸出張所の話)。三田市フラワータウン富士が丘の緑道整備の土や藤原台の渡り尾公園の砂が何処から来たかが明確になればそれらの現地で発生の有無を確認したい。

#### 来年以降どうなるのか？

プロフィールで見たとおりこのハチは全国的にも大変珍しいものである。兵庫県では須磨浦公園が唯一の確かな発生地である。ただ此処もこの数年現認はされていない。兵庫県版レッドデータブックには、きわめて珍しい昆虫であるが偶発的な発生の可能性があるから、敢えてこの種とその発生地を推薦する事をしなかった。来年以降神戸北部から三田へかけての地域で継続的に発生する事が確認されるなら、それらの土地そのものの保護を図る位の価値があるだろう。

来夏にはこのハチの発生を広域に調べる必要がある。一般の注意を喚起する方策を考えたい。本種の発生に気がつかれたときに連絡頂けると幸いです。

尚、東京都足立区の荒川放水路河川敷からも本種の1♂, 1♀が記録された(青木 隆, 1996)。日本全国で本種が大発生しているのかも知れない。

本小文を記すにあたり、現地に行かれた兵庫県立人と自然の博物館の大谷剛、橋本佳明、八木剛の諸氏、発生情報を寄せられた神戸市森林植物園学習の森の三宅慎也氏ならびに発生現場へ案内された神戸市土木局の皆様へ御礼申し上げます。

#### <参考文献>

- 常木勝次(1943) キアシハナダカバチモドキ (*Stizus pulcherrimus* Smith)の習性. むし, 15: 37-47.
- 安松京三(1965) 原色昆虫大図鑑 III. 301p., 北陸館.
- 岩田久二雄(1982) 日本蜂類生態図鑑. 23-24pp., 講談社
- 青木 隆(1996) キアシハナダカバチモドキを東京都足立区で採集. 月刊むし, No. 308, Oct. 38p.

(NAKANISHI MEITOKU 〒669-13 三田市弥生が丘  
6 兵庫県立人と自然の博物館  
Tel. 0795-59-2012, Fax. 59-2019)

---

### 神戸のヘリグロチャバネセセリ 山口 福男

---

神戸市のヘリグロチャバネセセリについて、私は本誌第24巻2号30ページに採集記録の確認がとれていないと報告した。このことについて近藤伸一・岡村八郎・青木陽一の3氏から早速連絡をいただき、本種が六甲山系の南面で採集されていることが確認できた。採集地点は袖谷・再度谷・鳥原、時期は6月下旬から7月。詳細なことについてはそれぞれ報告されると思われるので、ここではとりあえず速報して文資をとらせていただくことにしたい。情報をいただいた各氏に厚くお礼を申し上げます。

(YAMAGUCHI FUKUO 神戸市須磨区神の谷3丁目6-4)